

オリーブの会通信

2013年9月7日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会
〒760-0078 高松市今里町一丁目 499-2
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)
<http://khj-olive.com/>



第135回月例会ご案内

日 時	2013年9月22日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 (第1・2研修室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30 ~13:40 報告・連絡 (川井理事長) ・運営委員会の報告他 13:40 ~14:00 「若者と社会をつなぐ」プログラムから 行動機能分析によって“気付かされた” ことなどを発表 2名 さぬきサポステ浅田先生の家族のための講座 (徳島大学の境先生考案のプログラムより) 14:00 ~15:00 講演 「人と人をつなぐ場を考える、地域の中の 居場所作り」 コミュニケーションオフィス koko るーむ代表 スクールカウンセラー 竹田 美保子氏 15:00 ~15:15 休憩 15:15 ~16:30 小グループに分かれての話し合い
参 加 費	・会員1家族 1,000円 ・非会員1家族 1,500円

記録的な暑さの8月がようやく終わり、9月となり朝夕涼しくなりました。皆様お元気でお過ごしのことと存じます。9月の月例会は8月に続いて私達Cグループが担当します。宜しくお願い致します。

9月の月例会案内状をお送りしますので、皆様どうかご参加ください。

【8月例会(8/17)の概要】

1 川井理事長報告・連絡

(1) 四国新聞の掲載について

四国新聞社のご厚意で毎月月例会開催のお知らせを掲載して頂いているが、掲載されない月もあり、まだ親の会のことを知らない人のためにも広報は大切と思うので残念である。

(2) 第135回月例会のお知らせ

9月22日(日)開催。7月よりさぬきサポステで勉強している親の学習会(ニート、ひきこもり状態の子どもをもつ親のプログラム)での成果や気付きについて、会員2名が発表する予定です。

(3) 8月11日の「ひきこもり当事者交流会 in 香川」の報告

若者は香川から7名、高知から2名、大阪から2名、兵庫から2名、香大の学生さん4名の計17名、家族は香川6名、高知から2名の8名で総数25名の参加でした。何年もお会いしていない若者が友達と一緒に参加してくれました。食事会では以前と同様にお話できた。自助グループの立ち上げを考えている若者二人と三豊の若者も積極的に自助グループの立ち上げを考えていた。

高知の親の会からは会長の坂本さんと、副会長の武田さんが参加されていた。居場所の運営等大変であるというお話であった。高知は県の精神保健福祉センター所長が理解のある方で、連携がとれているからこそ、センター内に設置された家族サロンもうまく活用できているのではないかと思う。

(4) 全国大会のお知らせ

2013.9.28-29 福岡県で第8回全代研九州大会が開催される。今の所、川井理事長と松本夫妻、平野さんが参加予定。まだ期間があるので参加希望の人は申し込んで下さい。青年の集いも計画されているので、是非子どもさんたちに伝えて下さい。

(5) 兄弟姉妹の会について

8月12日かつてポパイの会に来ていた若者から電話があった。昨年末からお父さんが闘病されていて7月19日に亡くなられた、退会しますと。会員の方の死亡ということで皆さんにお伝えします。親亡きあと兄弟姉妹の会はリンクしている。兄弟姉妹の会は前奥山代表が提唱され、現在境先生が担当されている。兄弟姉妹が仲の良い所は良いけれど、仲があまり良くなかったり、ひきこもりを隠している所もあるが、香川の兄弟姉妹の方も入会して仲間と一緒に学習してほしいと思う。

2 ビデオ学習「うつ病の治療」

NHK スペシャル

うつ病は脳の病気である。最新の脳科学の研究によりアメリカで画期的な脳の治療が始まっている。薬による治療だけでなく最新の治療、即ち系統外磁器刺激(GNS)と言われ、うつ病専用が開発された装置を使い、強力な磁気刺激を脳に直接あてることによりうつ病のため低下している脳の機能の回復を図る方法である。

脳の前頭葉には DLPFC(背外側前頭葉)、扁桃体と呼ばれる部位が存在する。扁桃体の働きは不安や恐怖、悲しみ等 negative な感情を司る。一方 DLPFC は

判断や意欲を司り、また扁桃体の暴走をおさえる役割をしている。この DLPFC を刺激し、活性化することによりうつ病の症状が改善する。うつ病患者の 7 割が回復する。日本での治療が行われるには後数年はかかるという。また、手術により脳に電極を埋め込み電気刺激する方法、脳深部刺激(BBS)も試みられている。扁桃体の近くにある 25 野を刺激すると扁桃体や DLPFC に作用しコントロール出来るという。

日本では 2 年前より脳を科学的に検査する新しい診断法、光トポグラフィ検査が行われている。これは頭に近赤外線をあて脳の血流を調べる検査で、うつ病や双曲性障害即ちそううつ病等は特有の波形パターンを表す。今までうつ病と診断されている中に双曲性障害が 4 割含まれていたと考えられるので誤診を防げるようになった。

うつ病はギリシャ時代よりあり、ことばによる治療、カウンセリングも古くからあった。カウンセリング(認知行動療法)により扁桃体の血流低下が見られ、その結果扁桃体の働きを抑え、DLPFC を活性化しうつ病の症状が回復するのが確認されている。

脳の活動をリアルタイムで観察する装置を使い、自分の扁桃体を観察しながら自分の感情をコントロールするという方法でうつ病が予防出来るのではないかと考えられる。

3 松田勝先生のお話

ビデオ鑑賞と前後して、松田先生の解説とお話を聞きました。

ポレポレ農園には、現在 25 名の子がいますが、その中で、こちらの言った事が十分にできない子がほとんどです。例えば、一定以上の大きさのピーマンを収穫してきて下さいと頼んでも、小さなものまで全部取ってくる。

それらは出荷できなくて捨てねばならなくなる。いろんな片付け事もできないということです。この夏、東京から女子大生が一人、ボランティアとして来ました。彼女は、都会育ちで特別農業に関心があるわけでもないが、農作業を手伝ってもらおうと、農園の中で 2 番目にできる子となった。いかに農園の子たちが指示待ちで、判断力、行動力がなくなってきていたのかを感じさせられた。

私が農園を始めた頃の子どもたちには、意欲があった。今は無気力な子がいっぱい。当事者の気持ち、行動を家族が全く理解できない状態が多い。

こうなってくると、カウンセラーの私では対応できない範囲のあることがはっきりしてきた。前回ご覧になった「自閉症スペクトラム」のビデオにもあったように、精神障害の中の一部を包括してとらえる考え方が出てきた。「うつ病治療」のビデオで見たように、脳医学の発展によって、症状と脳機能との関連が分かり、薬の他に脳への磁気刺激による治療も出てきた中で、カウンセラーの役割は、言葉による脳機能の回復(認知行動療法)です。カウンセリングが有効なのは、軽度の場合、早期の場合、回復期の場合です。私の接する子どもの中に、「(自分の)脳に血流が通るのが分かる」と言う子も出てきました。

4 グループ別話合い

- ①松田先生を囲んで新しく参加した家族中心のグループ
- ②うつ病に関心のある家族のグループ

③その他の家族

と香大生もそれぞれ3グループに分かれ、グループミーティングを行った。

○会員の方が、息子さんが恋愛の上、今春結婚されたことを話された。

式場の手配から費用等全て若い二人で決め、親は式に出席したのみであったと。居合わせた会員は明るい話題に心が和み、若い二人の幸せを願った。

「ひきこもり当事者交流会 in 香川」(8/11)の報告

1 8月11日(日)午後、「ひきこもり当事者交流会 in 香川」を高松で開催しました。

参加者は、当事者が香川から7名、高知から2名、大阪から2名、兵庫から2名が参加し、香川大学の学生さん4名、家族は、香川から6名、高知から2名の合計25名でした。

会場の「アイパル香川」第一会議室では、香川の当事者が受付をし案内、最初にオリブの会代表のあいさつがあり、簡単に自己紹介、そこで家族は別室に移動、用意されたお茶やお菓子をいただきながら、それぞれ香川の当事者会、大阪や兵庫の当事者会、高知の居場所、香川の支援機関の状況などを参加者が発表、小休憩の後は、読書やカラオケ、音楽などの「日々の過ごし方」を話した後、家族も入り、希望する支援や居場所について、親亡き後のライフプラン、在宅ワーク、ピアサポート、高知県やいろ鳥の活動状況、これからの会についての話などをしました。

その後、食事会会場の「やさしい食卓」に移動し、当事者と家族15名で、野菜中心のヘルシーな食事を楽しみました。

2 上記の交流会に香川から参加させて頂いた一当事者として感想や意見を述べさせて頂きたいと思います。ひきこもり、ニートの交流会と一口に申しましても、参加者各々の現在置かれている状況、或いは目標等も違う訳でありますから、全ての参加者が満足出来る様な交流会にはならなかったとは思いますが、微妙な差異を感じながらも比較的似通った目標を共有出来るであろうと思われる数人との出会いもありましたし、また、目標は違っても、国や地方自治体に対して支援を求めていく際には是非、同志となって頂きたい様な優秀なポテンシャルを持った方々ともお会いする事が出来た事は大変有意義であり、且つ頼もしい限りであると感じました。また、臨床心理士を目指しておられる香川大学の学生の方々との交流も、近い将来の居場所活動や自助組織立ち上げの際の布石にもなるであろうと思われまますし、専攻されている心理学や教育学をベースとした様々な分析や意見も大変参考になりましたので、とても思い出深い邂逅となりました。その点は恐らく、竹森教授の人選の妙という事も好結果に繋がったのだと思いますので、竹森教授並びに当事者やその保護者に対して充分の気配りをもって接して下さった4人の学生の方々には深く感謝の意を表したいと思います。今後もこの様な交流会を定期的に関き、その中で目標を同じくする真の仲間が見つかったり、また、新たな目標を発見する為の様々な出会いがあれば、各々の次の行動に向けての一種の起爆剂的な役割を果たし、大変有益な場という事になるのではないのでしょうか。最後になりましたが、今回の開催に御尽力頂きました川井理事長や森下氏他関係各位に対しては心か

ら感謝致す次第であります。今後も「一期一会」の精神を以って皆様と様々な場所、場面で交流する事が出来れば幸いです。本当に有難うございました。(2013年 夏)

- 3 初めて参加の当事者会。高知県内では当事者と話すことはありましたが県外では初めてでした。当事者より支援者、元当事者の参加が多く見られました。始まりから支援の問題点や改善策などが多く話し合われました。ようやく一人の当事者がどのように休日を過ごすかを聞いたのでだいぶ緩い雰囲気になっていきます。だいたいこの様な流れの当事者会。私はちょっと疲れてしまいました。2時間以上の会議に参加しているとくたびれますね。くたびれる原因は私の集中力の無さと今回の会に問題を感じたからです。

問題点を2点ほど挙げます。

1点目は支援者が多くを占めていたため当事者会というよりは支援者会になり、支援者同士の大変さを相互理解する流れになりました。

2点目は大学生の参加があることです。

「何しにきたがな」と思いました。がんばっている大学生は当事者からどのように見られているのか分かっていないのではないのでしょうか。

(※十分わかっているのではないのでしょうか。心理の勉強をしている学生さんで、香川のポパイの会にも参加してもらっています。説明が少し足りませんでした。学生さんも初めての経験で皆に受け入れてもらえるか不安もあり緊張もしていたのではないのでしょうか。)

当事者会を開催する大変さを理解していないわけではありません。主催の森下氏のポジションは終始当事者にかなり近い支援者でした。支援者のなかでも彼の存在は稀有だと思います。そんな彼が主催するのですから難しい面を想像するのはたやすいものです。今回の学びは会の内容というより森下氏そのものから得られる事があるのだと思います。

最後に、重苦しさもありましたが参加して学び取れる事もあり有意義に時間を過ごせました。主催者と参加者に感謝します。

(※ここで支援者と書かれている人たちも、実際はひきこもり経験者で本人が力をつけて結果的に支援活動になっている人たちです。)

- 4 11日の交流会ですが、楽しかったと思います。

他県のひきこもりの方々の意見や各県ごとのひきこもりに対する取り組みなど、貴重な話を聞かせていただける機会を与えて頂き、参加して良かったと思います。

- 5 当事者の会には参加できずに、親たちとの意見交換をしました。

客観的には、高知の現状が今のところ、恵まれているのかなという思いだった。

やいろ鳥の会だけではなく、関係諸機関からの厚い支援のサポートが有ってこそ出来るのではないかと思う。

ひきこもりに関して、地方行政トップのインテリジェンスが問われているのではないかと思っている。

親の方も、活動情報をオープンにして、真摯に活動している様子を広く開示してこそ、サポートの手が届くのではないかという感想をもった。

以上



【9・10月 居場所活動予定】

内 容	月	日	曜日	時 間	担 当
2013 年度第 5 回運営委員会	9	1	日	13:30 ~ 16:00	川井
個人カウンセリング (松田先生)	9	14	土	9:00 ~ 13:00	川井
ポパイの会	9	8	日	13:30 ~ 16:00	森下 川井 川井
	10	25 20	水 日		
家族交流会	9	8	日	13:30 ~ 16:00	川井
	10	25 20	水 日		
2013 年度第 6 回運営委員会	10	6	日	13:30 ~ 16:00	川井
個人カウンセリング (松田先生)	10	12	土	9:00 ~ 13:00	加藤

【お知らせ】

第八回全代研九州大会

日 時	平成 25 年 9 月 28 日(土) 13:30~16:30 平成 25 年 9 月 29 日(日) 9:30~15:00
会 場	福岡市中央区舞鶴 2-5-1 婦人会館あいれふ 9 階大研修室 7 階研修室(28 日青年の集い/会場・参加無料)
対 象	家族・当事者・支援者・行政関係者・関心のある方
内 容	講演会、シンポジウム、取り組み発表会
講 師	精神科医、臨床心理士、家族、行政関係者等
参 加 費	2000 円(ご夫婦 2500 円) 学生・当事者 500 円

※厚労省と KHJ 親の会との連携が進んでおりますが、本年度の厚労省の社会福祉推進事業として「全国各地の親の会における、ひきこもりピアサポーターに関する調査・養成派遣事業」が採択されました。(本部より)

《養成研修》

日 時	平成 25 年 11 月 9 日(土) ~ 11 日(月)
会 場	富山県宇奈月温泉自立塾(NPO 法人教育研究所)
対 象	親、当事者・・・支部長の推薦が必要(各支部 1~4 名まで)
研 修 費	無料 ・ 交通費:往復 8 割を補助

《ひきこもりピアサポーターに関する調査協力をお願い》

ピアサポーターに関するアンケート(支部長向け、ご家族向け、ご本人向けの 3 種類)にご協力のほどよろしくお願いいたします。